

# 8

## 令和 2 年度 団 体



市民活動助成金

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin  
Reiwa 2nendo katsuyou-jisseki-houkokusyu  
8no dantai-ga samazamana-jigyou-wo okonatta kirokudesu.

はじめの  
一歩  
コース

■岩倉昭和歌謡倶楽部



■地域のしあわせを考える会



■いわくらしょうがっこう



■HappineSS



■ひだまり会



ステップ  
アップ  
コース

■キミノセカイ～kids☆photo～  
岩倉支部



■古文書に親しむ会



イベント  
コース

■岩倉ボランティアサークル



18の団体が行った事業の記録集

令和2年

4月1日



令和3年

3月31日

# 令和 2 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

## 1. 岩倉市市民活動助成金とは

### (はじめの一歩コース)

2. 昭和歌謡をうたって元気になろう！【岩倉昭和歌謡倶楽部】
3. いわくるくるネットワークを創ろう☆【地域のしあわせを考える会】
4. 小学生になって、岩倉街道を中心にまちの研究をする事業【いわくらしょうがっこう】

### (ステップアップコース)

5. 介護施設・保育園等での慰問活動・キッズコンサート企画【HappineSS】
6. 市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」【ひだまり会】
7. ミニ・いわくら【キミノセカイ～kids☆photo～岩倉支部】
8. 古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業【古文書に親しむ会】

### (イベントコース)

9. トリック オア トリート！ボラボラ はっぴー ハロウィンフェスティバル  
【岩倉ボランティアサークル】

## 10. 令和 3 年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

### 市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働安全課市民協働グループ（市役所 6 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

### 市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

## 岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

## 助成の種類及び助成額

### 《はじめの一步コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：90%以内

### 《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

**補助期間**：1年ごと      **補助金額**：限度額15万円

**補助率**：1回目 70%以内

2回目 50%以内

3回目 30%以内

### 《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 令和3年度の助成金対象事業は、10ページに掲載されています。
- ※ 令和4年度の募集に関しては、令和3年11月中旬に公表されます。

## 令和4年度市民活動助成金についての予定

令和3年11月中旬      : 市民活動助成金説明会&個別相談会

令和3年12月上旬      : 申請書類受付**開始**

令和3年12月下旬      : 申請書類受付**締切**

令和4年3月上旬      : 企画提案発表会

令和4年3月中旬      : 内定通知

令和4年4月上旬      : 決定通知

令和4年4月～      : 助成金事業開始

## 昭和歌謡をうたって元気になろう！



わくわくコンサート（案）  
2021 2月14日（日）

①オープニング「ちょっとだけよ」 ☆全員参加

5, 狙いうち  
☆ピアノ伴奏、歌、カホン⇒決定

6, ob-la-di ob-la-da  
☆ピアノ伴奏、歌⇒決定

※11月26日 音楽連盟会議でコロナ禍の為、中止決定

事業総額 6,546円 対象経費 6,546円 助成額 6,000円

・主に会場使用料、備品購入費として利用

### ◆目的

・人同士のつながりが希薄になってきている今、世代を越え、性別・国籍も問わず、誰もが口ずさめる歌謡曲でつながりを作る。心も体も健康に、人生を楽しむことができる。

### ◆事業報告

【内容】

★予定していた事業は、新型コロナウイルスの影響により、すべて中止となった。

- ・①「昭和の日」コンサート ②8月だヨ！全員集合 ③第3回岩倉紅白歌合戦
- ・市関連イベントへの出演
- ・市内敬老会・他団体のイベントへの出演、老人施設への慰問

※わくわくコンサートのみ出演準備（市民プラザにて練習） 11/8(日) 午前午後

【成果】

- ・わくわくコンサートは、開催の可能性があったため、その出演に向けて練習に取り組めた。
- ・コロナ禍の中でも、前向きになれ、楽しい時間が持てた。

### ◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・感染防止対策をしながら、いろいろ検討を重ねたが、会員が集まることや、新たに市民を呼び込むことが難しく、今年は断念した。

【改善等】

- ・来年度は、感染防止対策をして、イベントが開催できないか、更に試行錯誤を重ねてみる。

## いわくるくるネットワークを創ろう☆



事業総額 27,036 円 対象経費 27,036 円 助成額 24,000 円

- ・主に会場使用料、消耗品費として利用

### ◆目的

- ・地域の活力を増やすため、幅広い市民への情報の発信が必要。孤立化の予防、若い世代への行事や区の仕事の引き継ぎ、隣人に対する理解が増すことにより、豊かに満足に暮らしていく。

### ◆事業報告

【内容】

- ・市民間ネットワーク構築のための企画会議（ワークショップ）（参加者のべ 96 人）  
6/7（日）、7/12（日）、9/6（日）、10/25（日） 生涯学習センター 会議  
11/15（日）、12/6（日）、1/17（日） Zoom 会議  
テーマ：コロナ禍で困った事、日々の悩み、困りごと、どんな情報が欲しいか？  
お試し版を使ってみての感想、意見、世代別にどう広める？ など

【成果】

- ・数は少ないが、思い描くようなやり取り・効果が出たと思う。
- ・ボランティア運営チームの中で、フェイスブック・Zoom・スプレッドシートなどのスキルアップができた。
- ・(仮) いわくるくるネットワーク（お試し版）のメンバーが 65 人になった。

### ◆課題等

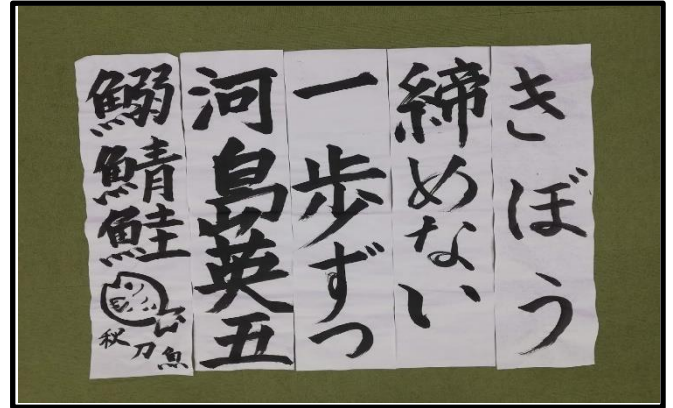
【苦勞・工夫・課題】

- ・月に 1 回の会議を開催するには、準備や分析が間に合わずチラシ等が予定通り作れなかった。
- ・Zoom での会議開催に変更したことを、フェイスブックで告知したり、募集投稿をした。
- ・運営チーム内の意識と目的の共有が上手くできず、思うように進められなかった。

【改善等】

- ・運営メンバーを増やし、協力してくれるファシリテーターの人を探す。
- ・他団体・市職員・経験者から話を伺い、運営の参考にする。
- ・運営チームを上手にまとめられるように、様々な能力を向上させる。

小学生になって、岩倉街道を中心にまちの研究をする事業



事業総額 780 円 対象経費 780 円 助成額 0 円 (千円未満切捨てるため)

- ・主に消耗品費、会場使用料として利用

◆ 目的

- ・シャッター商店街となった岩倉街道を中心に、安心して歩けるまちを再生する。
- ・まちににぎわいを取り戻し、魅力的な街・いわくら をふるさとにしたいくなる人を増やす。

◆ 事業報告

【内容】

- ・3/24 (火) 「入学式」準備 (会場の市民プラザがコロナによる休館のため中止)  
春の遠足 (いわくらたんけん) 五条川・岩倉街道 参加者 3 名 (代替案 実施)
- ・4/27 (月) 入学式 (会場の市民プラザがコロナによる休館のため中止)
- ・6/22 (月) 年間計画修正会議、模擬授業、市民プラザ 参加者 3 名

【成果】

- ・新型コロナによる公共施設の休館等に伴い、ほとんどの行事を行うことができなかった。
- ・その中でも、入学式に向けての話し合いや、模擬授業として、全員が交代で生徒や先生になり、漢字や日本地図の模擬授業を行った。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・入学式が行えなかったことから、すべての行事へ進むことができなかった。
- ・入学式の秋の開催など、検討を続けたが、コロナが終息することなく、今年度の開催は難しいと判断した。

【改善等】

- ・根本的に内容を見直し、新たに会員も募り、再度、計画する。

## 介護施設・保育園等での慰問活動・キッズコンサート企画



**事業総額 39,167円 対象経費 39,167円 助成額 27,000円**

・主に会場使用料、広告費として利用

### ◆目的

・沢山の人たちに生の音楽に触れて体感し、楽しんでもらい、ファミリーにも生の音楽を悠々と楽しんでもらう。“音楽のあるまちづくり”の貢献になる。

### ◆事業報告

【内容】

- ・〔1〕 6/19（金）オンラインライブ（キッズコンサートの代替えとして実施。）
- ・〔2〕 12/6（日）クリスマスキッズコンサート  
 場 所 生涯学習センター スタジオ1  
 参加者数 約20人  
 内 容 エレクトーン・ピアノ・ヴァイオリンによる幼児向けコンサート

【成果】

- ・〔1〕 応急処置としての対応だったため、次年度は行わない予定。
- ・〔2〕 市広報紙に掲載したため、多く問い合わせがあった。生涯学習センターの設備と広さ・行き届いた清掃により、無事に開催できた。人数制限をしたが、「満足」とお声をいただき、安心して気兼ねなく、生の演奏に触れられる機会を提供できた。

### ◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・感染症の影響で慰問活動ができなかったので方法を工夫し、オンラインの発信に切り替えた。
- ・感染症対策のため、一組ずつテープでスペースを作った。十分な除菌清掃、未然防止に努めた。しかし対策に気を遣う部分が増え、人員不足で準備・片付けに手間取った。

【改善等】

- ・対策は他団体・外部の音楽ホール・公共施設等で行っているものを継続して学び、取り入れていきたい。
- ・役割分担と事前準備をしっかり行い、来場者が気持ちよく過ごせる会場づくりに努めたい。

市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」



事業総額 58,853 円 対象経費 54,353 円 助成額 26,000 円

- ・主に講師料、人件費として利用

◆ 目的

- ・ひとり暮らしの方々に気軽に立ち寄ってもらい、生活相談（福祉・医療・介護等の話し合いの場）や市の行事なども紹介しながら、高齢者の居場所・生きがいにつなげる。

◆ 事業報告

【内容】

- ・健康ヨガ及び交流サロン 年間5回 火曜日 13:00~15:00 参加者数 6人/回  
開催場所 健康ヨガ：第3児童館／交流サロン：ひだまり
- ・健康マージャン 週2回（月・木） 参加者数 8人/回
- ・折り紙 月2回 参加者数 8人/回

【成果】

- ・健康ヨガは、身体をほぐし、その機能を高めることにつながった。
- ・交流サロンは、参加者同士のコミュニケーションを深めることで心身の健康につながった。
- ・健康マージャンは、脳のトレーニングや交流で認知症予防など脳の健康につながった。
- ・折り紙は、手先と頭を使い脳トレになった。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・コロナ禍で各事業は会場が使えない事もあり、充分に行えなかった。
- ・バザーに取り組みず収益がなく、それぞれの運営に苦勞した。
- ・手洗い・換気・消毒液などを用意し、感染予防に注意した。

【改善等】

- ・参加者が定着してきたが、さらにチラシ等で呼びかけていきたい。
- ・どんな状況になっても事業が行えるよう、会員の金額など考えていきたい。



## ミニ・いわくら



**事業総額 434,291 円 対象経費 276,141 円 助成額 138,000 円**

・主に会場使用料、借上料、消耗品費として利用

### ◆目的

・大人が主導するのではなく、あくまで子どもが主体となり、社会参画のあり方を、大人も共に学ぶ。

### ◆事業報告

【内容】

- ・打ち合わせ・実行委員会（計9回）  
実行委員募集、新実行委員発足、緊急事態宣言への対応  
店舗マニュアル・看板作り、求人票・市民票作りなど
- ・3/20(土)・21(日) ミニいわくら開催 いわくら大地の里の家 のべ169名  
アンケート回答26件

【成果】

- ・子どもたちが主体的に取り組み「まちづくり」をすることができた。
- ・屋外を選択し、2日目は雨だったが、子どもたちは自分で考え「まち」での時間を過ごしていた。当初「まち」になかった「ゴミ回収などの清掃事業」も新たに展開された。
- ・1日目小学生87名・2日目小学生82名（内両日とも子ども実行委員20名含む）

### ◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・常に感染対策や延期・中止するか？という判断をしながら、準備を進めた。
- ・「室内が良かったが、飲食ができないのは嫌だ」との意見と密を避けるために、屋外展開にした。子どもたちの力を信じて実施に至った。

【改善等】

- ・全ての子どもがマスク着用やアルコール消毒ができる訳ではなく、食物アレルギーがある子どももいる、と実行委員の子たちは常に考えていた。多様性を認め合う、誰もが参加しやすいまちづくりを、子どもたちは頑張っていたと感じる。今後もサポートしていきたい。

古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業



事業総額 155,490 円 対象経費 155,490 円 助成額 14,000 円

・主に講師謝礼費、印刷費として利用

◆目的

・手付かすの文書収集や発掘に努力し、歴史の穴埋めを図りたい。古文書を現代語に読み解き、内容の分かる文章で表し、理解しやすい歴史の資料とし、岩倉を知るための資料として提供する。

◆事業報告

【内容】

- ・① 例会 月2回（第2・第4水曜日）9:30～11:30 市民プラザ
- ・② 「初心者向け 2日連続公開講座」 8/17(月)・18(火) 9:30～11:30 市民プラザ  
参加者10名
- ・③ 展示会 1回目 11/7～11/27 市役所ギャラリー  
2回目 3/11～3/17 生涯学習センター

【成果】

- ・①長戸家文書の展示のため、地元の地図を張り合わせたところ、多くの方に好評だった。
- ・②中・高校生に参加してほしいと夏休みの午前中に計画したが、コロナの影響で学校・学生も忙しく、受講者は、成人のみで10名だった。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・古文書の記録をただ読み解くだけではなく、内容についても理解し、誤りの無いように念を入れ確かな資料として活用できるようまとめていく。
- ・高齢化や体調不良で会員が減少している。

【改善等】

- ・岩倉を含めたこの地方の古文書の収集に励み、当時の生活様式やしきたりなどについても、どのようであったか検証していきたい。
- ・展示会に関心がある方に、初心者用資料を準備し、興味を持ってもらえるようにしていく。

トリック オア トリート!

ボラボラ はっぴー ハロウィンフェスティバル



事業総額 113,044 円 対象経費 113,044 円 助成額 44,000 円

・主に消耗品費、印刷費、通信費として利用

◆ 目的

- ・子どもたちの新しい事への興味や関心を高め豊かな創造力を養い、非日常体験を通じて豊かな感性・可能性を育む。仲間と作り上げる体験（協調性）や挑戦することの面白さを知る。

◆ 事業報告

【内容】

- ・10/31（土）10：00～19：00 青少年宿泊研修施設「希望の家」 参加者 34 人  
「ハロウィン」をテーマに班別レクリエーション、衣装作り、段ボール家づくり、お菓子作り、ハロウィンパーティー。

【成果】

- ・子どもたちが協力し合って「ハロウィン」というイベントを一緒に作り上げることができた。
- ・仲間たちと一緒に作り上げていくことで、自由な創意工夫を楽しむ精神の育成や協調性などを高めることができた。
- ・「お菓子作りや仮装作りが楽しかった」と積極的に楽しめたとの声があった。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・コロナウイルス感染拡大防止を、イベント前ミーティングでスタッフに徹底、遵守させた。
- ・当日、時間通りに進まず、少しずつ時間が押して、最後のパーティーの時間が短くなった。
- ・バウムクーヘン作りが長時間になり、作業している子としていない子がいた。

【改善等】

- ・事前準備の段階から研修やプログラムの制作、準備物の調達などをしっかり行い、計画性を持って準備したい。問題が起きても対応ができるようにプログラムを組んでおく。
- ・手持ち無沙汰の子どもがいないように、普段の研修も見直す必要があると感じた。

## 令和3年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

団体名	事業名	活動内容
-----	-----	------

### ◆はじめの一歩コース （これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動）

Mugi ストローライフ岩倉	麦わらを使った「ストロー」作り	プラスチックストローの代替品となる「麦わらを使ったストロー」を作ることで、プラスチックゴミ削減による環境保全活動を行う。活動過程をSNSに掲載したり、広報掲載にて市民への関心を高める。
ミズベリング岩倉・五条川	「五条川の水面を歩く」サップ体験に集う会	「かわまちづくり」事業の一環として、五条川の水面を利用したサップウォーク、サップヨガ等の観光資源の掘り起こしを行う。「五条川でサップ」が多くの人に認知されるように継続的に実施する。 (※SUPとは「Stand Up Paddleboard」の略称で、ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進む、ハワイ発祥のウォータースポーツ)
いわくらい部♪	おてらいぶ×縁日 2021	だれもがふらりと立ち寄れるお寺を舞台に、2つのイベントを開催する。 ①「夢さくら公園」にてフリマ & マルシェとして「夢さくら縁日」を開催 ②公園隣接「長遠寺」にて音楽ライブとして「おてらいぶ♪」開催
AME 多文化学習支援の会	親子多文化学習支援事業	在住外国人向けに、外部講師や教育の専門家を招き、小中学校で学ぶ教科をポルトガル語で説明し子どもたちの勉強をサポートする。 親子の絆を深める事業を行い、SNSや広報で事業周知をしていく。

### ◆ステップアップコース （年間を通して計画的に実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業）

地域のしあわせを考える会	いわくるくるネットワークを創ろう☆	市民に役立つ情報が、誰でも入手できるように、SNSを介したネットワークを作る。 企画会議を4回実施し、SNSやホームページの運用方法等を話し合い、投稿数や内容を充実させる。
ひだまり会	市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」	高齢者の居場所づくりや交流を深めるとともに、体と脳の体操などを行い、健康増進を図る。 ①（月1回）健康ヨガ ②（月8回）健康マーじゃん ③（月2回）折紙教室（冬はあみもの教室も開催）
キミノセカイ ～Kids☆Photo～ 岩倉支部	ミニ・いわくら	ミニ・いわくらは、ドイツミュンヘン市で行われてきた「ミニ・ミュンヘン」をお手本にした「子どものまち事業」。子どもが主体となり、職業体験やまちづくり体験をすることにより、子どもの社会参画のあり方を、大人も共に学ぶことを目的とした事業を行う。

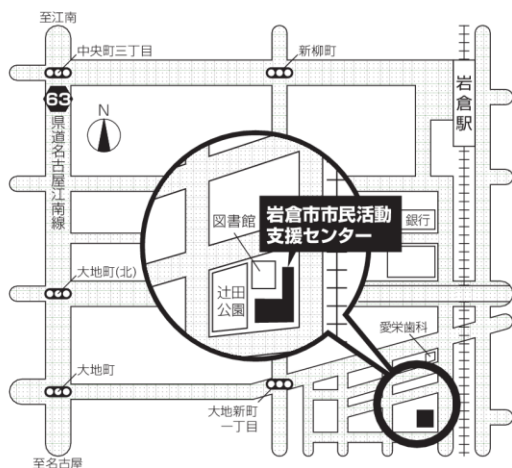
### ◆イベントコース （今年度中に開催する単年度事業のイベント）

岩倉ボランティアサークル	たけたけ！バンブーキャンプ	岩倉の身近な自然の1つである竹林公園の「竹」を活用し、自然に対する興味や理解を深める。 竹に関する紙芝居の鑑賞や、竹を使った食器づくりや食事作りを実施する。班行動で、協調性や思いやりの心を育む。
--------------	---------------	--





## 岩倉市市民活動支援センター



- 住所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30      ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS    ■ 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら            ■ 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから > iwakura\_ad@lw.ne.jp

facebook 岩倉市市民活動支援センター    twitter @IwakuraCSC

インターネット   で検索してください

